

## 令和7年度 ( 宮城県立松陵支援 ) 学校の研究概要 ~令和8年1月末現在~

運営委員氏名 ( 高野 利之 )

研究テーマ	主題 「地域と共に成長する知的特別支援学校の教育課程の編成」 副題 ～地域資源を活用した授業づくりをめざして～（基礎研究）
研究目標	① 児童生徒の実態、学校の実態、地域の実態を調査し、年間指導計画の妥当性を検証する。 ② 地域資源の活用（連携・交流）の視点を指導計画に取り入れ、授業実践、振り返りを行い、教育課程を検討する。
研究内容・方法 研究計画等	(1) 地域の実態調査（地域資源に関する情報収集、開拓） (2) 児童生徒・学校の実態調査（児童生徒に関する情報収集、地域連携・交流に関する教員の意識について、施設設備の状況について） (3) 教職員への周知・啓発（コミュニティ・スクールについての研修会を実施） (4) 地域連携・交流を取り入れた指導計画の作成、授業実践、振り返り (5) 定期的な協議・検討の場の設定と考察
研究の概要 ・研究経過 ・研究成果等	開校1年目であることを踏まえて児童生徒の実態、学校の実態、地域の実態を把握し、コミュニティ・スクールの構築を促進するに当たっての素地を整えていくことに注力した。 (1) 近隣施設、地域の方からの情報収集 ・地域のイベント等への参加を通じ、地域のニーズと雰囲気の把握を行った。 (2) <u>児童生徒に関する実態調査（人との関わりが希薄となり得る要因を考察、現状把握）</u> ・障害種、通学方法と通学区域、居住地校学習の希望者数と実施状況、放課後等デイサービス利用の有無に関する実態調査を行い、人との関わりの観点から分析した。 <u>教員のCSに対する意識をアンケート調査（課題とニーズの把握）</u> <b>課題</b> ①CSへのイメージ不足②手続きや窓口が不明③業務の負担感 <b>ニーズ</b> ②ハード面（環境整備）②ソフト面（人的交流）③その他（イベント等への参加） (3) 文部科学省CSマイスターを講師とした「コミュニティ・スクールについての研修会」を実施 (4) 「地域資源活用シート」を活用した授業実践記録の蓄積と分析 <b>課題</b> ①一部の学年、学級における単発的な取組にとどまっている②地域の人的資源の活用が、教員個人の人脈に頼っている (5) 年間指導計画の見直し・整理・単元ごとの振り返りと共有、教育課程委員会との連携 ・学年・学部との指揮事項、指導時期、時数の見直しを行っている。 (1)～(5)で明らかになった課題やニーズを解決するために、以下の方策を講じた。 ・地域の物的・人的資源を集約し、教職員へ情報提供を行った。 ・先行実践校の活動事例を集約し、教職員へアナウンスを行った。 ・「手続きフローチャート」を作成し、交流・連携に関する手続きを明記しマニュアル化した。 <b>今後の課題</b> ・学年、学部間の系統性や発展性に留意するとともに、「地域とのつながり」を念頭に置き、一貫性のある取組に整理していくことが必要である。

※本様式内で簡潔にまとめてください。なお、項目名や枠の大きさは任意に変更していただいて結構です。